

四国放送ラジオ スタジオ生中継 9月29日(水) 16:10~15

徳島県作業療法士会

出演：常務理事 吉野 哲一（ヨシノ ノリカズ）

連絡先：☎ 090-7629-8046

※太字：アナウンサー

※細字：出演者

(アナ) 今日**は**徳島県作業療法士会より**常務理事の吉野 哲一（ヨシノ ノリカズ）**先生にお越し頂いております。吉野先生今日はよろしくお願ひします。

(吉野) お世話になっております。徳島県作業療法士会の吉野です。よろしくお願ひいたします。

(アナ) 前回は上田会長より、徳島県作業療法士会についてお話しして頂きました。吉野先生は作業療法士会でどのような担当や活動をされているのですか？

(吉野) はい。主に総合事業推進委員会と災害対策委員会の担当をしております。今日は総合事業についてお話させていただきます。

(アナ) 総合事業…。あまり聞きなれない言葉ですが、分かりやすく教えて頂けますか？

(吉野) 正式には「介護予防・日常生活支援総合事業」と言ひます。各市町村が提供する地域住民向けサービスになります。地域にお住まいの高齢者で要介護の認定を受けていなくても、介護予防のサービスを利用できます。徳島県作業療法士会の他にも様々な団体が市町村と協力しあい、サービスを提供しています。

(アナ) なるほど。地域にお住まいの高齢者さんが要介護状態にならないように地域で住民参加型のサービスを提供するんですね。

(吉野) はい。対象者さんの力や住民相互の力を引き出して介護予防や日常生活の支援を進めていくこと、ひいては地域づくりを進めることはとても重要です。現在、徳島県作業療法士会では、県内数カ所の市町村でこの総合事業を行なっています。地区の公民館や集会所では、筋力をつけるための体操や頭の体操などを行なっています。外出等が困難な方は、自宅へ訪問し、そこでご本人のもう一度やりたいこと、生き生きとした生活になるための活動を行なっています。

(アナ) **そうなんですね。市町村で色々な活動や支援を地域で提供して、高齢者の方が安心して生活を送れるよう取り組まれているんですね。**

(吉野) はい。高齢者の方が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、高齢者自身の能力を最大限に活かして、要介護状態になることを予防するためのしくみです。さまざまな立場の人たちが、総合事業に参画することで、地域の助け合いやつながりが生まれます。来月、10月29日に鳴門市では、第5回いきいき百歳大交流大会が開催されます。会場には徳島県作業療法士会のブースも出ております。当日はコロナウイルスの感染予防を行っておりますので、ぜひいらしてください。

(アナ) **ありがとうございます。今日は徳島県作業療法士会の常務理事吉野 哲一（ヨシノ ノリカズ）先生にお越し頂きました。吉野先生、最後に一言お願いいたします。**

(吉野) はい。高齢者の方は、住み慣れた地域や我が家で生活ができることは、多くの方が望んでいることです。徳島県作業療法士会では、リハビリテーションの専門職の団体として、地域課題を一つひとつ解決していき、当士会ができることを創り続け提供していきます。